

クイズ：もっと知りたい！
「データで学ぶ『新・人間革命』」Vol.1

1960（昭和35）年、山本伸一が、世界広布の第一歩となる初の北南米への平和旅に出発した日は？

① 4月2日

② 10月2日

③ 12月2日



出題箇所 第1巻<旭日>

ヒントは「データで学ぶ『新・人間革命』」Vol.1p.22

1960（昭和35）年、山本伸一が、世界広布の第一歩となる初の北南米への平和旅に出発した日は？

① 4月2日

② 10月2日

③ 12月2日

会長就任から約5か月後となる、1960年10月2日、山本伸一は恩師・戸田城聖第二代会長から託された「君の本当の舞台は世界だよ」との言葉を胸に、羽田空港からハワイへと旅立ちます。この日、伸一の上着の内ポケットには恩師の写真が入っていました。4月2日は戸田先生の命日ですが、月命日である2日に、世界広宣流布の道を開くという師匠との誓いを果たすため、世界へと旅立ったのです。

伸一たちが、平和旅の第一歩をしいたハワイで最初に食べたものは何でしょうか？

①おにぎり

②海苔（のり）

③ハンバーガー

出題箇所 第1巻＜旭日＞

ヒントは小説『新・人間革命』第1巻 p.25



伸一たちが、平和旅の第一歩をのしつたハワイで最初に食べたものは何でしょうか？

①おにぎり

②海苔（のり）

③ハンバーガー

海外旅行が珍しい時代、連絡の行き違いからホテルに着いたのは真夜中になってしまいました。食事をする場所もなく、伸一がもってきた故郷の海苔を皆で分け合って空腹をしのぐことに。浮かない顔をしている同行メンバーに、伸一は「こうやって、みんなで海苔を食べたことが、将来、最高の思い出になるよ」と愉快そうに語ります。その悠々とした姿に、皆の不安は払われていきました。

アメリカ草創期のメンバーへ伸一が語った三指針。市民権をとる、免許をとる、もう一つは？

①本を読む

②歌を歌う

③英語を
マスターする



出題箇所 第1巻＜新世界＞

ヒントは「データで学ぶ『新・人間革命』」 Vol.1 p.28,p.29

アメリカ草創期のメンバーへ伸一が語った三指針。市民権をとる、免許をとる、もう一つは？

①本を読む

平和旅の第2の訪問都市・サンフランシスコの座談会で伸一は、日系人のメンバーに、「市民権をとること」「自動車の運転免許をとること」「英語をマスターすること」という3つの提案を語ります。

②歌を歌う

当時、言葉も通じず、早く日本に帰りたいと弱気になる人も多いなか、現状を嘆くのではなく、アメリカ社会に根をはり、信頼される良き市民となり、地域の人たちと心を通わせてほしい、との伸一の願いが込められていました。この具体的な目標は、皆の希望となり、誓いの三指針となりました。

③英語を マスターする

最初の北南米の平和旅で訪問したのは、アメリカとカナダと、どの国
でしょうか？

① ブラジル

② ペルー

③ アルゼンチン



出題箇所 第1巻＜開拓者＞

ヒントは「データで学ぶ『新・人間革命』」Vol.1 p.30,p.54

最初の北南米の平和旅で訪問したのは、アメリカとカナダと、どの国でしょうか？

① ブラジル

② ペルー

③ アルゼンチン

初の海外歴訪、身を削る思いで激励を続けていた伸一は体調を崩してしまいます。心配した同行のリーダーが、これ以上は動かず休息してほしいと進言するほどでした。しかし“私を待っている同志がいる。途中でやめることなどできない”との覚悟で訪問したのが、ブラジルだったのです。サンパウロの座談会では、日系移住者の想像を絶する苦労が次々と語られました。伸一は仏法の確信を力強く語り、メンバーを希望で包みます。そして海外初の支部が結成されるのです。